

株式会社スーパーバリュー御中

成長シナリオ次第で、株主価値は172億円。バリュウギャップは115億円

貴社を投下資本、超過利潤価値、成長価値などに分解する超過利潤法によって分析した。業績や将来見通しなどをベースに試算した結果、株主価値は172億円と推計することが可能である。5年程度で売上高が850億円、営業利益が14億円、10年程度で売上高が884億円、営業利益が18億円、投下資本の売上高比が現在の23.4%で一定推移となる前提である。株主価値と時価総額のギャップは115億円であり（時価総額の202%）、期待形成によってはアップサイドあり。

① 株主資本 64億円

- 直前四半期末の投下資本は191.0億円、投下資本/今期売上高の比は④23.4%と推計。有利子負債等を差し引いて非事業資産を加えた株主資本は63.9億円と推計。[株主資本 = 投下資本 - 有利子負債等 + 非事業資産]

② 超過利潤価値 -91億円

- 今期の税引後営業利益（NOPAT）は約3.6億円、NOPATマージン（NOPAT÷売上高）は⑤0.4%と推計。⑤÷④で算出される投下資本利益率（ROIC）は1.9%となる。
- 投下資本に対し投資家が要求する最低限のリターン、加重平均資本コスト（WACC）について、JPRは株価、財務戦略、事業リスク等から3.6%と推計。1円の投下資本から創出する企業価値の割合を示すROIC/WACCは0.5倍となる。
- これをベースに今期の超過利潤を推計すると-3.3億円と推計される。今期のEVAの永久価値（超過利潤価値）は超過利潤÷WACCで計算され、-91億円と推計される。

③ 成長価値 199億円

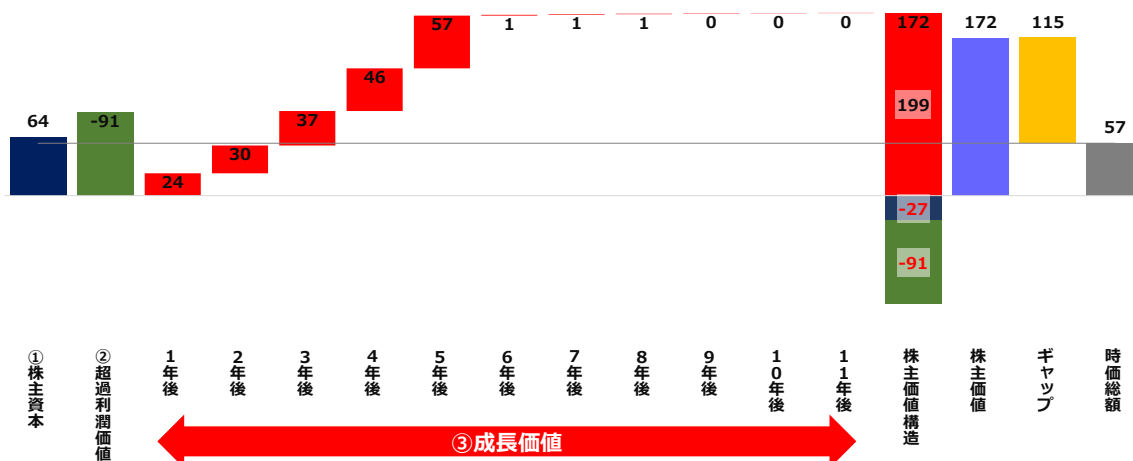
- 5年後の売上高が850億円、営業利益が14億円となる前提等で、成長価値は199億円と推計。

うち非事業資産 0億円

- 月商1.5か月を超えた現預金など、事業に投下した資本以外の資産は0億円と推計。

超過利潤法による株主価値構造とバリュウギャップ分析

[単位：億円]



[会社開示資料等を利用して作成、2018年07月04日時点]

Copyright © J-Phoenix Research Inc. All rights reserved.

本資料には予想・見直し・目標・計画等の将来に関する事項が含まれております。これは当社が本資料作成時点において入手した情報に基づき、当該時点における予測等を基礎として作成されております。これらの事項には一定の前提・仮定を採用しており、一定の前提・仮定は当社の主観的な予想を含むものも含まれております。また、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確である事が判明し、あるいは将来においてこれらの予想は実現しない事があります。その為、本資料に掲載されている予想・見直し・目標・計画等の将来に関する事項について、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。同時にその内容の正確性、完全性、公平性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。問い合わせ先：http://j-phoenix.com/contact.html

